

第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名：名古屋市 緑政土木局 道路部橋梁課

事業の名称：近鉄名古屋線・JR関西本線
連続立体交差事業

実施都市名：名古屋市

事業の目的

この事業は、鉄道を高架化することにより、1時間あたりの最大遮断時間が47分であった踏切をはじめ、15か所の踏切を除却し、これまでの慢性的な交通渋滞や踏切事故の解消を目的として取り組んだものです。

特に、八田地区においては、事業にあわせて駅機能を集約化したことにより乗換等の利便性を向上させ、これにより名古屋市西部における交通のアクセス拠点として、今後の地域の活性化が期待されます。

また、鉄道交差道路が整備されたため線路で分断されていた南北の地域が一体化し、中村区と中川区の交流促進が図られました。

事業概要

事業名： 近鉄名古屋線・JR関西本線連続立体交差事業

事業箇所： 黄金～庄内川

事業延長： 約3.5km

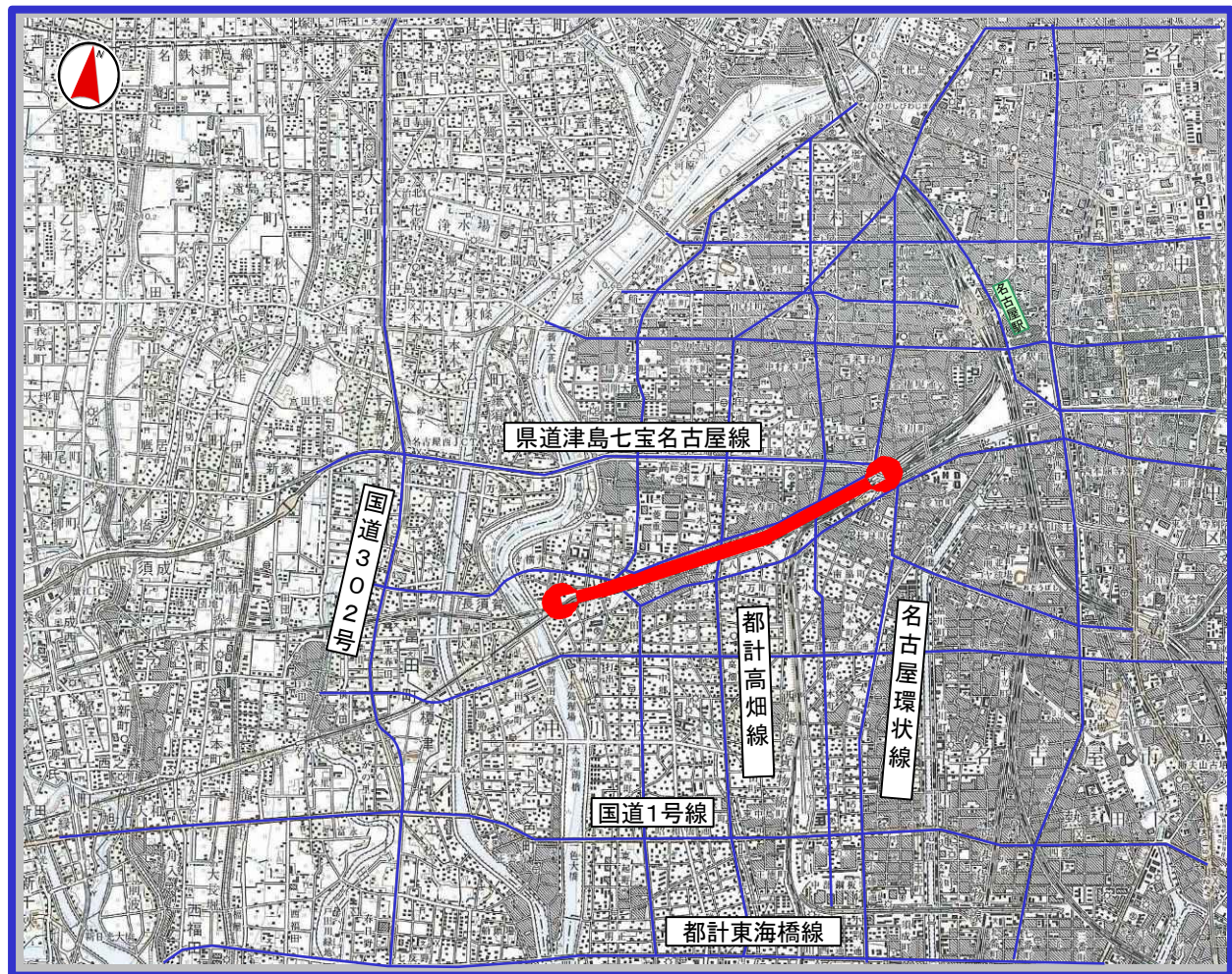
総事業費： 約660億円

事業期間： 平成5年～平成18年

この事業は、名古屋駅から西へ、中村区と中川区の区界を並行に運行し四日市方面とを結ぶ『JR関西本線』と『近鉄名古屋線』を黄金橋付近から庄内川付近までの間、延長約3.5kmを2路線同時に高架化する事業です。これにより、15か所の踏切が除却され、交差道路は都市計画道路3路線を含む20か所を新設するとともに、側道としてJR側4路線・近鉄側3路線の計7路線の都市計画道路の整備も実施しました。

八田地区においては、本事業にあわせて近鉄とJRの両駅を地下鉄八田駅付近に移設し、地下連絡や立体横断施設などで連結し、さらに自動車やバスの発着などが可能になる駅前広場の整備を行うことにより総合駅化が完了しました。

事業位置図

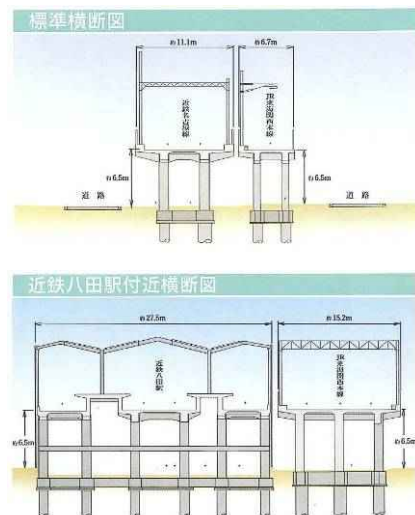


全体図(平面図・側面図・横断面図)

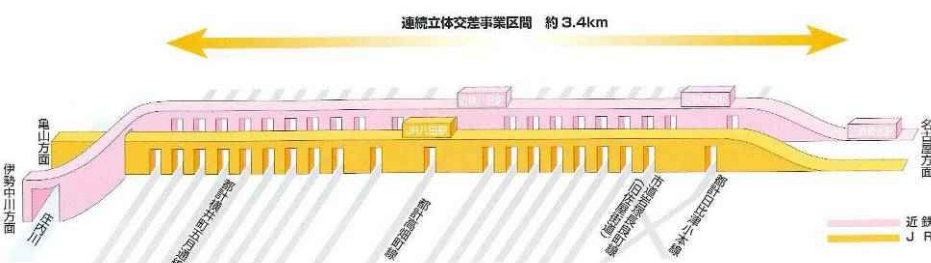
平面図

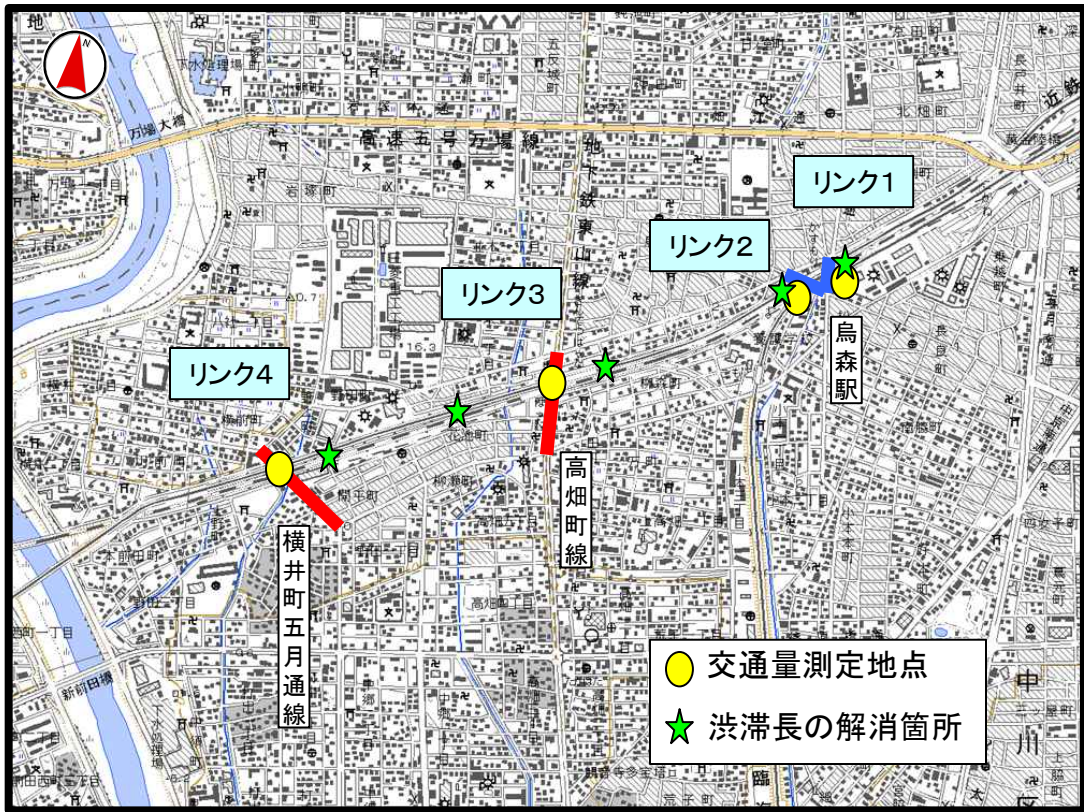


横断面



側面図





○事業概要

事業名: 近鉄名古屋線・JR関西本線
連続立体交差事業

事業箇所: 黄金～庄内川

事業延長: 3.5Km

除却踏切数: 近鉄名古屋線7か所
JR東海関西本線8か所

総事業費: 約660億円

事業期間: H5～H18年度



事業前: H4



事業後: H18

○交通量調査結果

供用前 平成11年3月16日
供用後 平成19年11月29日
リンク1)

日交通量 3,326→6,594台

旅行速度 8.8Km→16.5km

リンク2)

日交通量 3,360台→6,436台

旅行速度 9.8km/h→31.5km/h

リンク3)

日交通量 0→15,811台

リンク4)

日交通量 0→6,271台

「整備効果」

○高畑町線付近の迂回交通量75%減少

○旅行速度の向上

烏森駅付近 9.8km/h→31.5km/h

最大通過時間 5.1分⇒1.2分

○踏切渋滞長の解消

烏森駅 410m⇒0m

横井町五月通線 250m⇒0m



迂回路の踏切から



都計高畑町線へ

事業前写真

平成4年11月撮影



都市計画道路 高畑町線

【近鉄：八田第1号踏切 JR：白山踏切】

平成4年撮影



市道岩塚長良町線

【近鉄：八田第4号踏切 JR：熱田街道踏切】

平成4年撮影



都計日比津小本線

【近鉄：烏森第1号踏切 JR：中村街道踏切】

平成18年9月撮影



都市計画道路 高畑町線

平成19年6月撮影



市道岩塚長良町線

平成19年6月撮影



都計日比津小本線